

新春
特別企画

私の好きな「朝霧」の風景

深い「朝霧」が雲海となり亀岡盆地一帯を覆う様子は幻想的で美しく、「亀岡市民憲章」や「ふるさと讃歌」にも登場する、亀岡を象徴する心の原風景です。
このような亀岡の霧が織り成す風景を、昨年、「私の好きな『朝霧』の風景として募集しましたところ、市民の皆さんからたくさん、霧に包まれた素晴らしいスポットの情報をお寄せいただきました。
今回は、その魅力を紹介します。



市民の皆さまに 開かれた議会を目指して

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望にあふれた平成29年の新春を健やかに迎えたいと心からお喜び申し上げます。年頭にあたり、亀岡市議会を代表して、慎んでご挨拶を申し上げます。
今、急激な人口減少と少子高齢化の進行など、厳しい社会情勢の中で、それぞれの自治体が自らの判断と責任によって「地方創生」の取り組みを進めることが求められており、二元代表制の一翼を担う議会の役割は、ますます重要となっております。

また重要となっております。市議会では、議会活動のよりどころとなる議会基本条例を平成22年10月に制定し、以降、常にその検証・見直しを行いながら、議会の一層の充実・強化に努めております。今後、より身近な議会、開かれた議会の実現を目指し、議会の改革・活性化に引き続き取り組むとともに、さまざまな市政課題の解決に向け、皆さまの声を十分にお聴きし、議論を重ねる中で、さらなる市政の発展のため、誠心誠意尽くしてまいります。

さて、平成29年は、私たち16期の議員の任期が丸2年を経過する折り返しの年です。これまで日々取り組んできた課題を振り返りつつ、市民の皆さまの代表としての重責を果たせるよう、議員一同を引き締め、決意を新たにしています。どうか、本年も市議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとって今年一年が健康で明るい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



篠町在住の大隈千恵子さんから、亀岡の霧の中に発生した珍しい現象の写真を提供していただきました。
空に大きな虹のような円が現れ、両側に2つの光、まるで太陽が3つあるように見えるこの現象は「幻日」、この3つの光を結ぶ「幻日環」、太陽の上下に垂直に光が柱のように見えるのは「太陽柱(サンピラー)」と呼ばれています。
大隈さんによれば、この日は早朝から霧が濃く、この現象の前にはキラキラとした氷霧が舞い降りていたということです。

たくさんの情報 ありがとうございました

「私の好きな『朝霧』の風景」には、すばらしい写真とともにたくさんの情報をお寄せいただきました。他にも・・・
●保津橋をライトをつけて走ってくる車の風景 (田中美賀子さん・保津町)
●安詳小学校への道中、国道9号を渡る歩道橋の上から千代川方面を見た風景 (多胡麻衣さん・篠町)
●京都学園大学のバイオ環境館が霧で消えた風景 (竹内博士さん・内丸町)
●保津川の不動明王像からの風景 (豊田寛司さん・下矢田町)
●南つづじヶ丘から坂を下りていくときの霧の中に入っていくような印象 (中越豊さん・南つづじヶ丘)
●大本部の万祥殿と木々の間からかすかに見える日輪 (駒形康義さん・京町)
●本梅町西加倉のゴルフ場付近から見える雲海 (藤田もえさん・篠町)
●宇津根橋下流右岸道路から愛宕山方面、山の上から次第に霧が晴れていく様子 (山内元さん・古世町) など
すべてを紹介することはできませんでしたが、亀岡はやはり霧のまち、すばらしい風景を楽しむ場所がたくさんあることが分かりました。皆さん、ありがとうございました！